

新しいクオリティへ、新しいスピードで。

『リそな』

HUMAN COMMUNICATION

# 2015年3月期 (2014年度) 決算ハイライト

2015年5月12日



RESONA

リそなホールディングス

(単位:億円)

I. 2015年3月期 決算の概要

■ HD連結当期純利益:2,114億円を計上... Page1,2

⇒ 前年度比91億円(Δ4.1%)減益、予想比214億円(+11.2%)増益

- ・税金等調整前当期純利益:前年度比141億円(+4.5%)増益
- ・税金費用等:前年度比233億円増加

⇨ 法人税実効税率の引下げ影響(131億円)除きで“実質”増益

■ トップライン:8期ぶりの前年度比“反転”を実現... Page2,3,4

⇒ 実勢業務純益(銀行合算):前年度比224億円(+10.0%)増益、

予想比231億円(+10.4%)増益

- ・貸出金残高:前年度比+7,856億円(+2.9%)、3期連続で増加
- ・国内預貸金利回り差(銀行合算):1.35%、前年度比Δ9bp
- ・役務利益(銀行合算):前年度比+128億円、保険販売・不動産仲介が好調
- ・債券関係損益(銀行合算):着実に積上げ、業務粗利益を牽引
- ・ローコスト運営を徹底、経費率(銀行合算)は前年度比改善(Δ2.1%)

■ 財務基盤:健全性が一段の向上... Page5,7

- ・不良債権比率(銀行合算):1.51%、開示不良債権(銀行合算):着実に減少
- ・その他有価証券評価差額(銀行合算):5,731億円、含み益を確保
- ・HD連結自己資本比率〔国内基準〕(速報値):13.46%
- ・HD連結普通株式等Tier1比率〔国際統一基準〕(参考値)\*1:7.07%

■ 公的資金:定時株主総会后に“完済”へ(3年前倒し)... Page6

⇒ 2015年3月期 返済額合計:2,280億円\*2(注入額ベース)

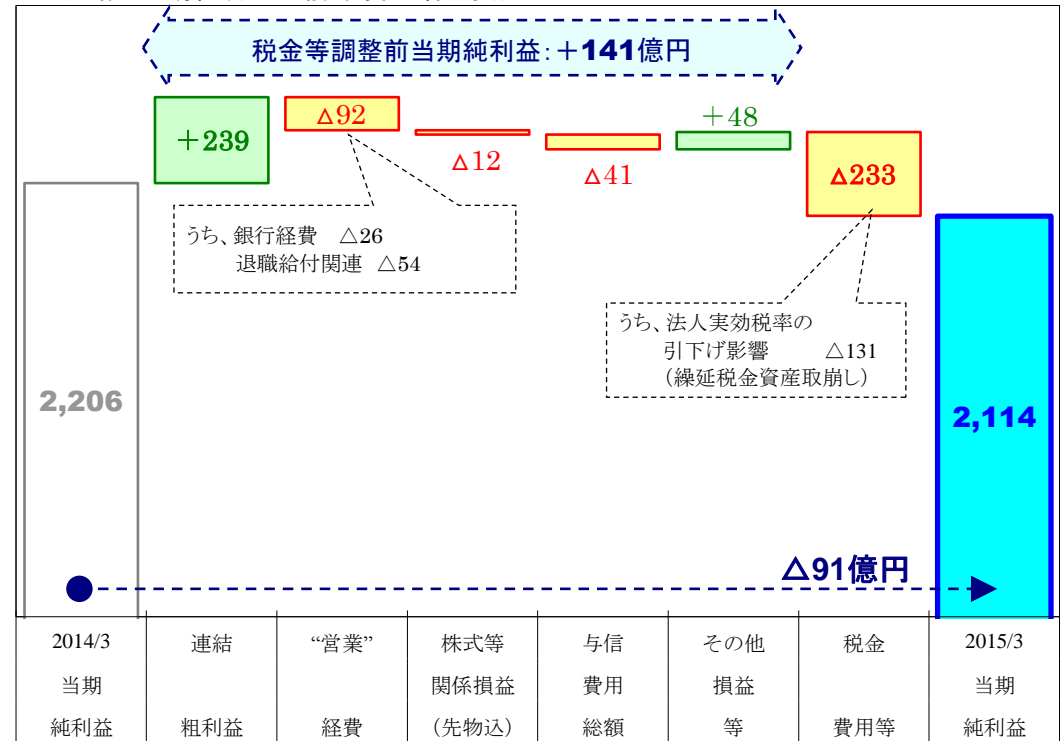
公的資金残存額:1,280億円(注入額ベース)

⇒ 普通株主配当:1株につき2円(13%)の増配を実施(15円→17円)

\*1 その他有価証券評価差額金除き

\*2 早期健全化法優先株式:320億円(注入額ベース)、預金保険法優先株式:1,960億円(注入額ベース)

○ HD連結・当期純利益の前年度比増減要因



HD《連結》	2015年3月期		(2014年11月公表)		HD《単体》	2015年3月期		(2014年11月公表)	
	2014/3期比	予想比	2014/3期比	予想比		2014/3期比	予想比		
経常利益	3,333	+211	+483		経常利益	1,213	Δ3,232	Δ2	
当期純利益	2,114	Δ91	+214		当期純利益	1,217	Δ3,237	+2	

	銀行合算《単体》 (2014年11月公表)			りそな (2014年11月公表)			埼玉りそな (2014年11月公表)			近畿大阪 (2014年11月公表)		
	【2015年3月期】	2014/3期比	予想比	《単体》	2014/3期比	予想比	《単体》	2014/3期比	予想比	《単体》	2014/3期比	予想比
業務粗利益	5,805	+252	+235	3,910	+230	+185	1,363	+8	+13	530	+13	+35
経費	Δ3,353	Δ26	Δ3	Δ2,198	Δ7	+7	Δ768	Δ13	Δ3	Δ386	Δ5	Δ1
実勢業務純益*3	2,451	+224	+231	1,711	+221	+191	595	Δ4	+10	144	+8	+34
経費率 (信託勘定処理考慮)	57.7%	Δ2.1%		56.2%	Δ3.2%		56.3%	+0.6%		72.8%	Δ0.8%	

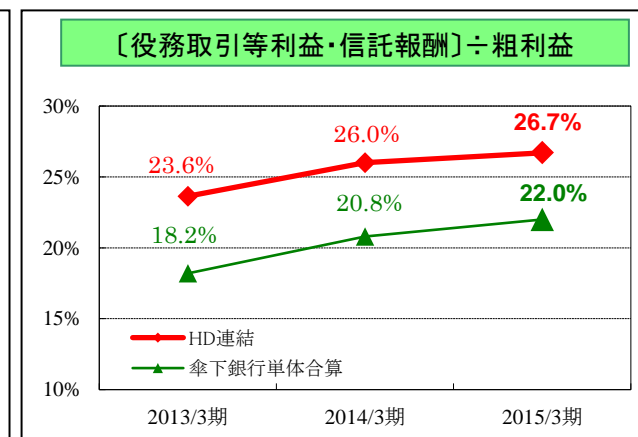
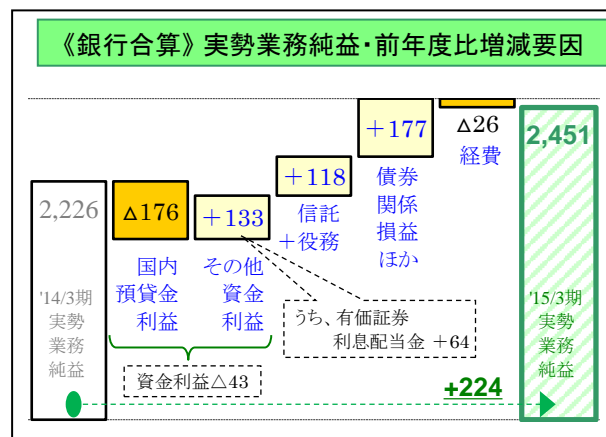
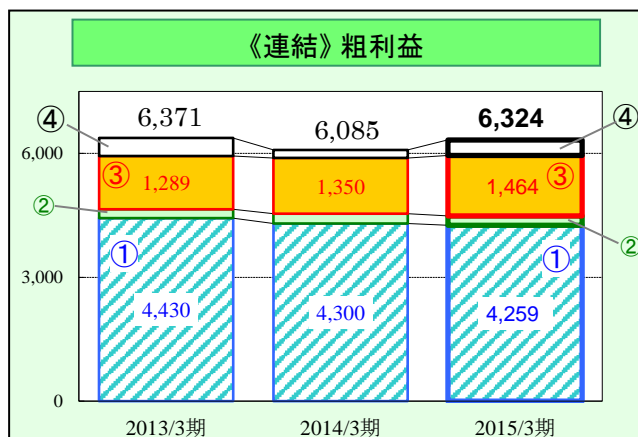
\*3 実勢業務純益:信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

注1):金額については単位未満を切捨て表示

注2):原則、各傘下銀行の単体計数を表示

## Ⅱ. 2015年3月期の損益状況等

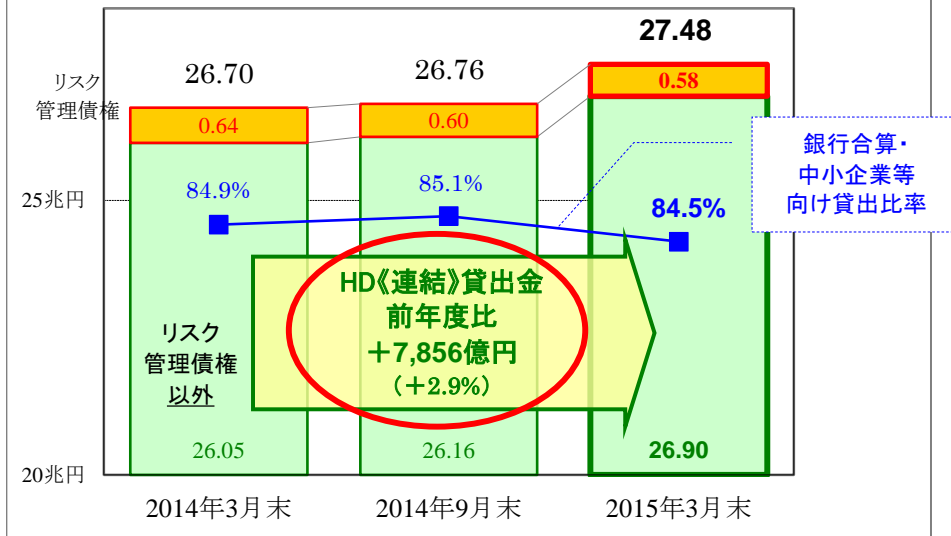
	HD《連結》		連単差 (A)-(B)	傘下銀行 単体合算 (B)		りそな 〈単体〉	埼玉りそな	近畿大阪 〈単体〉	連単差(A)-(B)の 内訳など 〔概数〕
	(A)	2014/3期比		(B)	2014/3期比				
粗利益〔連結/業務〕	6,324	+239	+519	5,805	+252	3,910	1,363	530	
① 資金利益	4,259	△40	+94	4,165	△43	2,657	1,121	387	カード22、他
うち国内預貸金利益				3,488	△176	2,192	955	340	預貸金利益:国内部門、銀行勘定、預金に譲渡性預金を含む
② 信託報酬	227	△9	△0	227	△9	227	—	—	
③ 役務取引等利益	1,464	+113	+414	1,050	+128	753	193	103	保証268、カード136、他
④ その他業務粗利益	372	+175	+11	361	+177	271	49	40	
うち債券関係損益(先物等含む)	195	+123	—	195	+123	115	41	37	債券関係損益+金融派生商品損益(債券関連)
実勢業務純益				2,451	+224	1,711	595	144	(信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益)
“営業”経費	△3,577	△92	△189	△3,388	△80	△2,193	△790	△403	カード△111、保証△31、他
経費				△3,353	△26	△2,198	△768	△386	
株式等関係損益	445	+219	+0	445	+222	429	6	9	
与信費用総額	223	△41	△19	243	△27	248	△22	17	保証11、カード△16、他
その他損益等	△154	△183	+18	△172	△173	△150	5	△27	
税引“前”当期純利益	3,262	+141	+329	2,932	+192	2,243	562	126	
税金費用ほか	△1,147	△233	△179	△968	△196	△744	△209	△14	少数株主利益△59、HD他税金費用他△120
税引後当期純利益	2,114	△91	+150	1,964	△3	1,499	352	112	



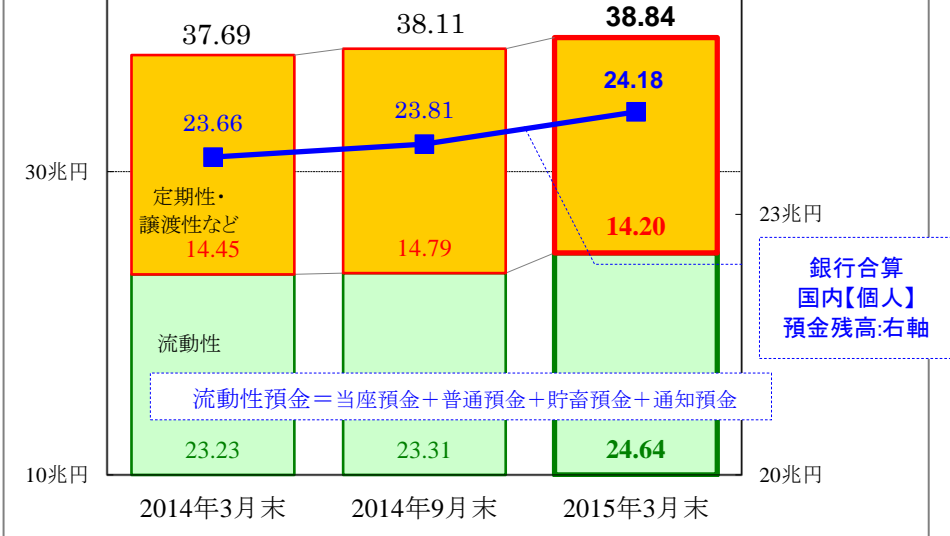
注1:金額については単位未満を切捨て表示  
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅲ. 預貸金の状況

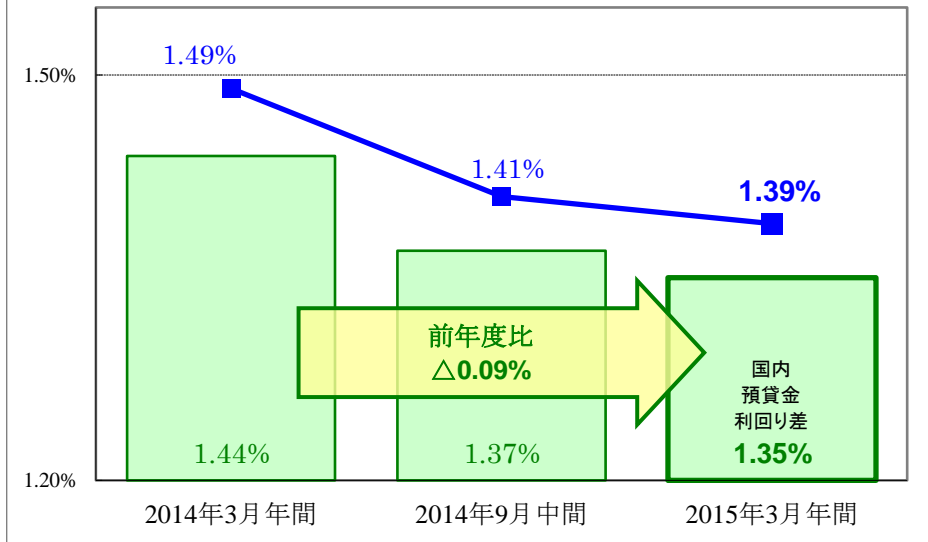
〔HD《連結》・貸出金残高等の状況〕



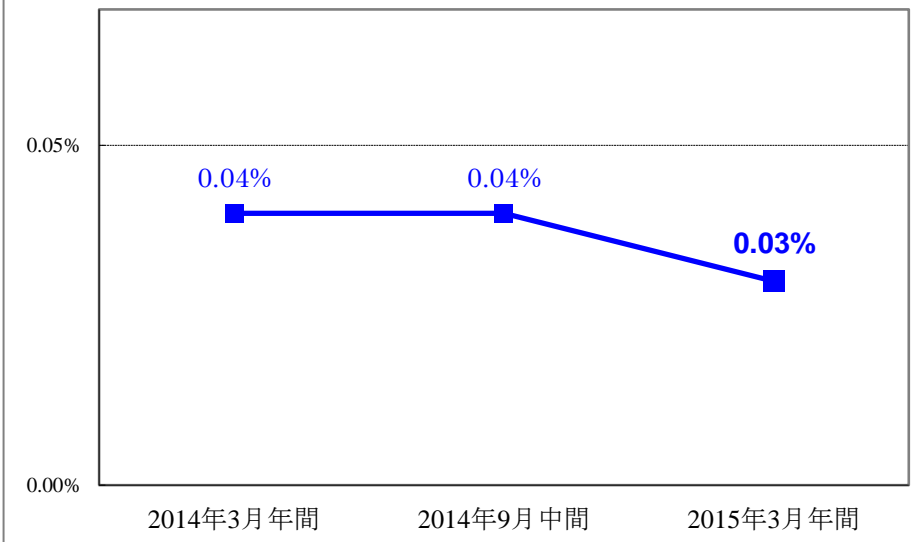
〔HD《連結》・預金等の状況〕



〔銀行合算・(国内業務)貸出金利回り等の状況〕 ※ 社内管理基準



〔銀行合算・(国内業務)預金債券等利回りの状況〕

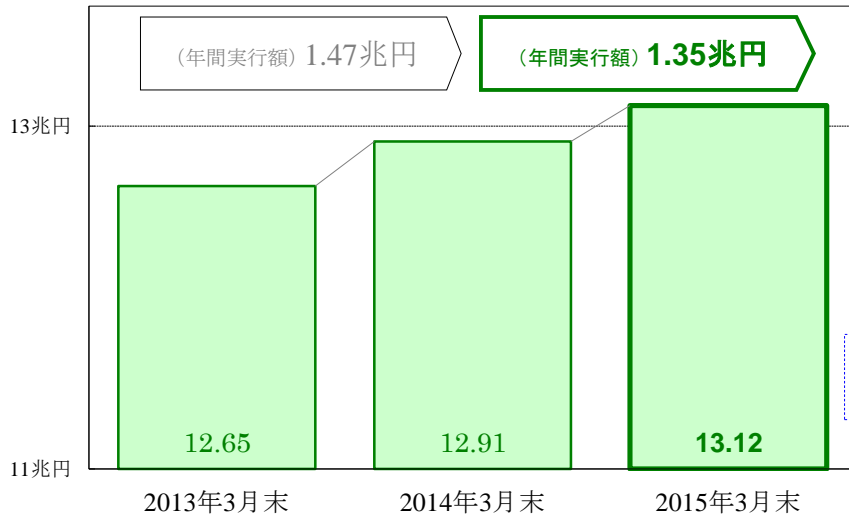


注1:金額については単位未満を切捨て表示  
注2:原則、各傘下銀行の単体計数を表示

IV. 主要ビジネスの状況

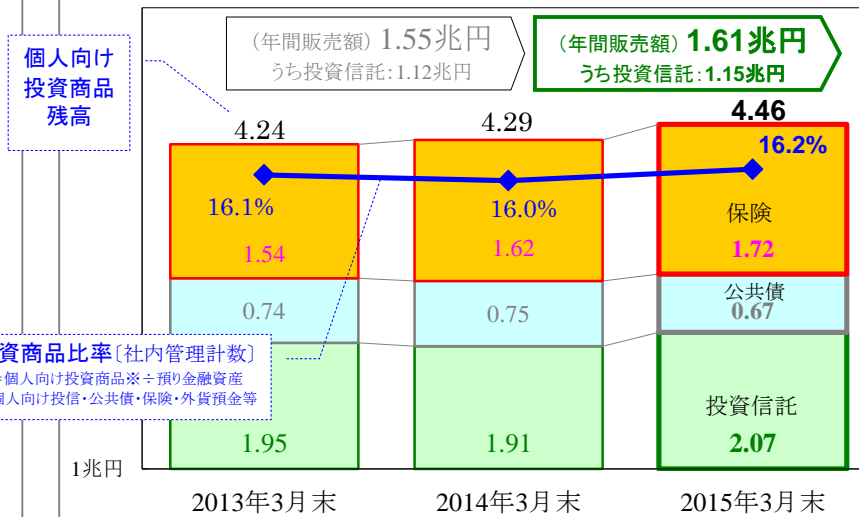
〔銀行合算・住宅ローンの状況〕

※一部、社内管理計数/  
実行額にフラット35を含む



〔銀行合算・個人向け投資商品の状況〕

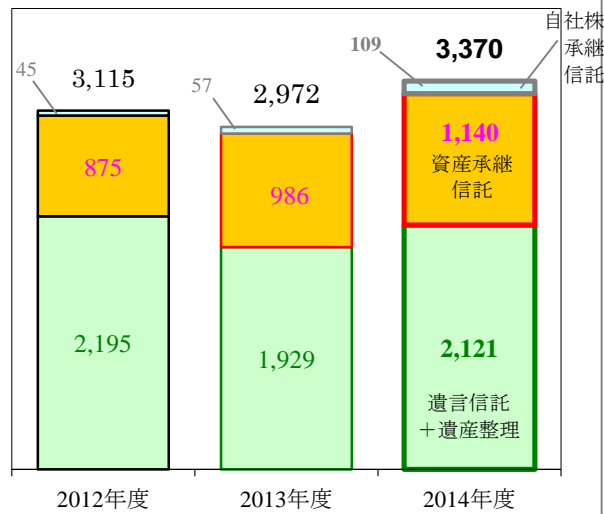
※一部、社内管理計数



投資商品比率〔社内管理計数〕  
=個人向け投資商品※+預り金融資産  
※個人向け投信・公共債・保険・外貨預金等

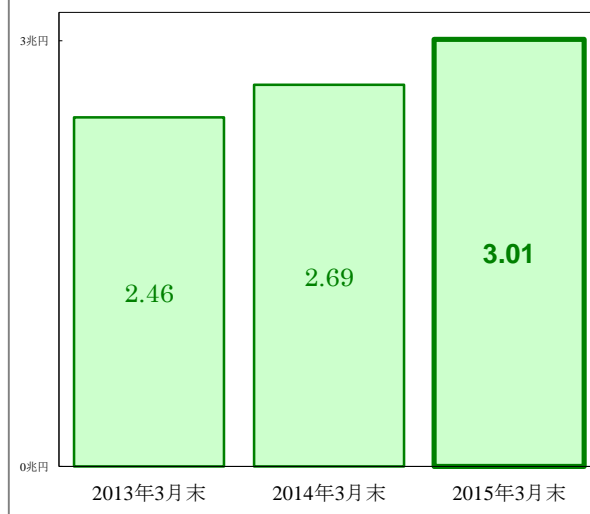
〔りそな銀行・資産承継ビジネス等※の状況〕

※ 社内管理の新規利用件数



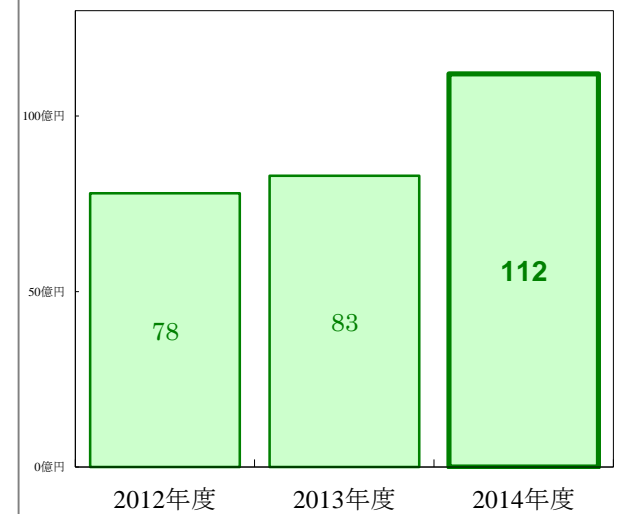
〔りそな銀行・企業年金受託残高※の状況〕

※ 社内管理残高(総合基金除き、確定拠出年金含む)



〔りそな銀行・不動産業務※の状況〕

※ 不動産ファンド出資関連を除く社内管理の収益計数



注1: 金額については単位未満を切捨て表示  
注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

(単位:億円)

## V. 与信費用・開示不良債権の状況

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
与信費用総額	243	248	△22	17
2014年3月末比	△27	△66	△11	+50
① 新規発生	△295	△167	△79	△49
2014年3月末比	+72	+42	+12	+17
② 区分改善	69	47	18	2
2014年3月末比	△15	△15	+6	△6
③ オフバランスなど	234	200	13	20
2014年3月末比	△35	△32	△16	+14
④ 一般貸引	235	168	24	43
2014年3月末比	△49	△60	△13	+25

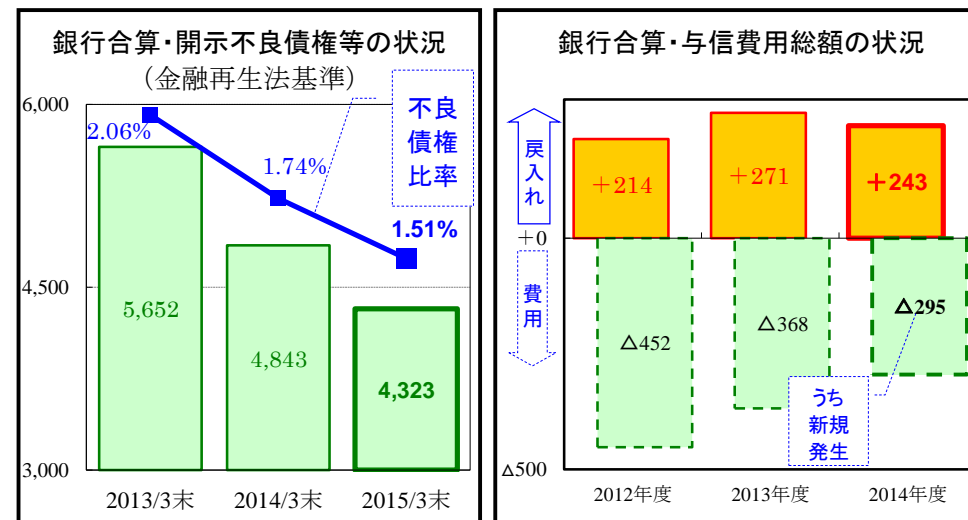
- ① 新規破綻・債務者区分劣化等の損失  
 ② 債務者区分の改善に伴う引当金取崩等を合算  
 ③ 破綻懸念先以下の債権回収に加えて、オフバランス等に伴う引当金取崩および償却債権取立益等を合算  
 ④ 実質的な一般貸引当金の繰入・戻入をネットした影響等(一部、目的取崩等を考慮)

	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
破産更生債権等	606	343	175	87
危険債権	2,656	1,441	668	547
要管理債権	1,059	767	185	107
開示不良債権計	4,323	2,552	1,028	741
2014年3月末比	△520	△303	△74	△141
不良債権比率※1	1.51%	1.33%	1.48%	2.96%
2014年3月末比	△0.23%	△0.21%	△0.15%	△0.46%

※1. 開示不良債権計÷金融再生法基準開示債権総合計(総与信)【銀行合算】

※2. 規制対象外株式(子会社・関連会社株式・非上場株式)を除いて算出しております。

※3. 時価のある有価証券のみを対象として記載しております。「有価証券」のほか、「現金預け金」中の譲渡性預け金、「買入金銭債権」中の一部が含まれております。



## VI. 有価証券の評価損益等の状況

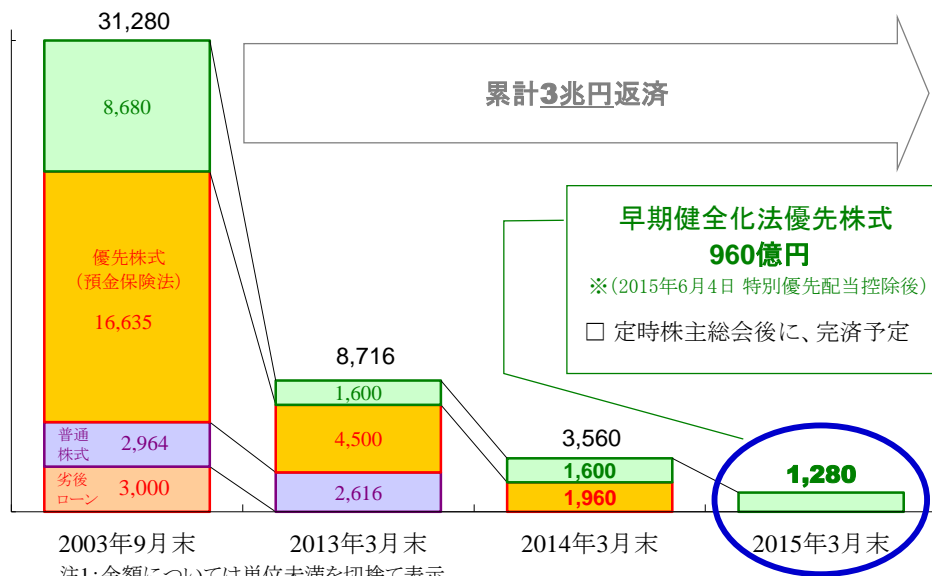
	銀行合算	りそな	埼玉りそな	近畿大阪
満期保有目的	726	457	208	60
その他有価証券※3	5,731	4,352	1,211	167
2014年3月末比	+2,403	+1,839	+508	+55
債券	129	35	65	28
株式	5,394	4,194	1,121	79
その他	207	122	24	60
株式残高(取得原価ベース)※2	3,306	2,632	630	43

注1: 金額については単位未満を切捨て表示

注2: 原則、各傘下銀行の単体計数を表示

Ⅶ. 公的資金の状況

	2003年9月末残高	2015年3月末残高	返済時期	
	①	②	②-①	
公的資金合計	31,280	<b>1,280</b>	<b>Δ30,000</b>	
優先株式	25,315	1,280	Δ24,035	
早期健全化法	8,680	1,280	Δ7,400	
乙種	4,080	—	Δ4,080	2009.3 完済
丙種	600	480	Δ120	2014.6 120億円返済
戊種	3,000	—	Δ3,000	2009.3 完済
己種	1,000	800	Δ200	2014.6 200億円返済
預金保険法	16,635	—	Δ16,635	
第1種	5,500	—	Δ5,500	2011.3 完済
第2種	5,635	—	Δ5,635	2011.3 完済
第3種	5,500	—	Δ5,500	2014.7 完済
劣後ローン	3,000	—	Δ3,000	
金融安定化法	2,000	—	Δ2,000	2005.10 完済
早期健全化法	1,000	—	Δ1,000	2009.3 完済
普通株式	2,964	—	Δ2,964	2014.2 完済



～ 新たな資本政策 (2015年2月公表) の概要と進捗状況 ～

◎ 【自己資本比率の目標水準(公的資金完済後)】

- 【国内基準】⇒ 十分な自己資本を確保
- 【国際統一基準】⇒ 普通株式等Tier1比率※1で8.0%を安定的に上回る水準
- 【資本効率を重視した運営】⇒ ROE※210%を上回る水準

※1 その他有価証券評価差額金除き ※2 (当期純利益-優先株配当)÷(株主資本-優先株残高〔期首期末平均〕)

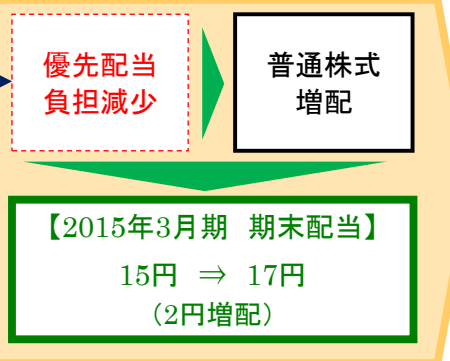
資本の実質的交換(キャピタル・エクステンジ)の実施



普通株式等  
Tier1比率の向上

普通株式の  
増配原資として  
活用

◎ 【配当方針等】



○ [自己資本の充実]と  
[継続的な安定配当]の両立

残る社債型優先株式  
(1,750億円)の取得実施

普通株式配当の増額を検討

- 2016年3月期より、中間配当を実施
- 株主優待制度を導入

VIII. 自己資本比率の状況

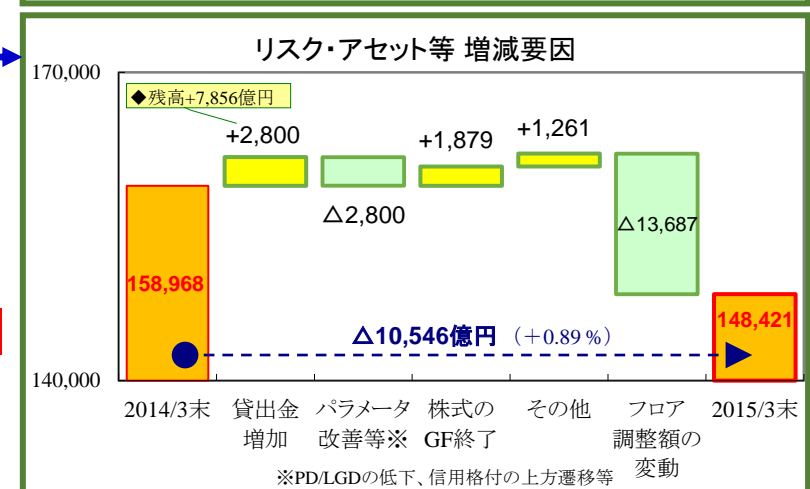
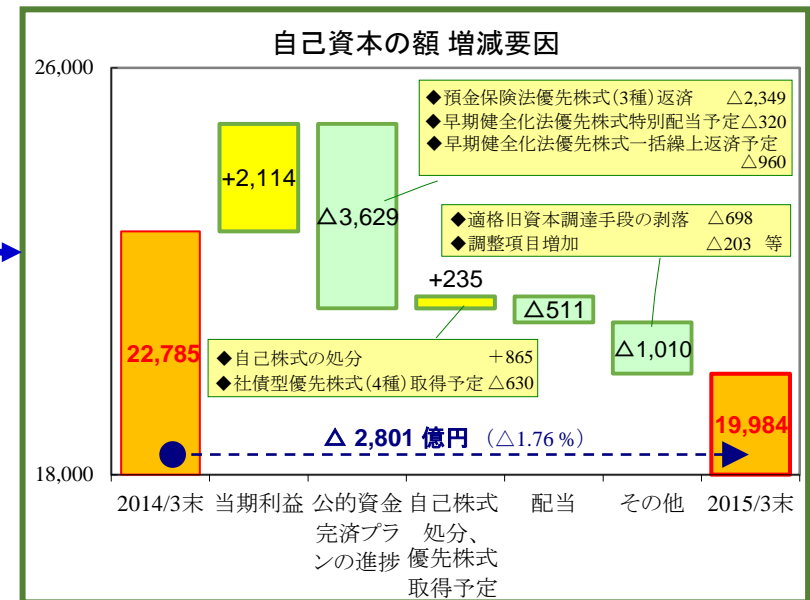
国内基準	HD《連結》		
	2014年 3月末	2015年 3月末	2014年 3月末比
自己資本比率	14.33%	<b>13.46%</b>	Δ0.87%
自己資本の額	22,785	19,984	Δ2,801
コア資本に係る基礎項目の額	22,857	20,259	Δ2,598
コア資本に係る調整項目の額	72	275	+203
リスク・アセット等	158,968	148,421	Δ10,546

規制上の  
所要水準  
4.0%

[参考] 国際統一基準	2014年 3月末	2015年 3月末	2014年 3月末比
普通株式等Tier1比率	7.73%	8.16%	+0.43%
(その他有価証券評価差額金除き)	7.43%	<b>※ 7.07%</b>	Δ0.36%
Tier1比率	9.38%	9.71%	+0.33%
総自己資本比率	13.68%	14.03%	+0.35%

※当社は、その他有価証券評価差額金除きの「普通株式等Tier1比率」について、8.0%を安定的に上回る水準を確保することを目標としております

国内基準	りそな《連結》		埼玉りそな《単体》		近畿大阪《連結》	
	2014年 3月末	2015年 3月末	2014年 3月末	2015年 3月末	2014年 3月末	2015年 3月末
自己資本比率	13.37%	<b>13.58%</b>	13.40%	<b>14.26%</b>	13.20%	<b>10.93%</b>
自己資本の額	15,475	14,650	4,355	4,140	1,768	1,480
コア資本に係る基礎項目の額	15,553	14,855	4,493	4,276	1,768	1,482
コア資本に係る調整項目の額	77	205	138	135	-	1
リスク・アセット等	115,724	107,861	32,484	29,024	13,385	13,541



- 自己資本比率は、自己資本比率告示(バーゼル3)に基づき算出しております。
- リスク・アセット等のうち、信用リスク・アセットの計算における採用手法は、HD・りそな・埼玉りそながA-IRB、近畿大阪がF-IRBです。



(単位:億円)

## IX. 2016年3月期 通期の業績予想

	HD《連結》		
	(中間期予想)	〔通期予想〕	前年実績比
連結経常利益	1,310	<b>2,540</b>	△793
<b>親会社株主に帰属する当期(中間)純利益</b>	910	<b>1,750</b>	△364

	配当(予想)※	
	(中間)	(年間)
普通配当	8.5円	17円
優先配当	所定の配当	

※ 配当状況・予想の詳細については、「決算短信」表紙2.配当の状況をご覧ください。

	HD〈単体〉		
	(中間期予想)	〔通期予想〕	前年実績比
営業収益	1,010	<b>2,020</b>	+737
営業利益	970	<b>1,940</b>	+729
経常利益	970	<b>1,940</b>	+727
<b>当期(中間)純利益</b>	970	<b>1,940</b>	+723

	銀行合算【概数】				りそな			埼玉りそな			近畿大阪		
	(中間期予想)	〔通期予想〕	前年実績比	健全化計画比	(中間期予想)	〔通期予想〕	前年実績比	(中間期予想)	〔通期予想〕	前年実績比	(中間期予想)	〔通期予想〕	前年実績比
業務粗利益	2,895	<b>5,810</b>	+5	+170	1,925	3,920	+10	710	1,370	+7	260	520	△10
経費	△1,675	<b>△3,350</b>	+3	+10	△1,095	△2,195	+3	△380	△760	+8	△200	△395	△9
実勢業務純益	1,220	<b>2,460</b>	+9	+180	830	1,725	+14	330	610	+15	60	125	△19
経常利益	1,190	<b>2,330</b>	△673	+145	855	1,720	△571	300	535	△31	35	75	△70
税引“前”当期(中間)純利益	1,185	<b>2,315</b>	△617	+145	850	1,710	△533	300	530	△32	35	75	△51
<b>税引後当期(中間)純利益</b>	825	<b>1,600</b>	△364	+150	600	1,195	△304	200	355	+3	25	50	△62

株式等関係損益	45	<b>100</b>	△345	+10	45	95	△334	—	—	△6	—	5	△4
与信費用総額	△70	<b>△180</b>	△423	+5	△30	△90	△338	△25	△60	△38	△15	△30	△47

本資料中の将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。即ち、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因等が考えられます。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。